

東京電力ホールディングス株式会社
福島第一原子力発電所

11:10

様式0-1(1/2)

応急措置の概要 (原子炉施設)

(第23181報)

2022年 2月 1日 11時02分

内閣総理大臣, 原子力規制委員会, 福島県知事, 大熊町長, 双葉町長 殿

第25条報告

報告者名 東京電力ホールディングス株式会社
福島第一廃炉推進カンパニー
福島第一原子力発電所
原子力防災管理者 磯貝 智彦

連絡先 0240-30-9301

原子力災害対策特別措置法第25条第2項の規定に基づき、応急措置の概要を以下の通り報告します。

原子力事業所の名称及び場所	福島第一原子力発電所 福島県双葉郡大熊町大字夫沢字北原22
特定事象の発生箇所 (注1)	福島第一原子力発電所
特定事象の発生時刻 (注1)	2011年(平成23年)3月11日 16時36分(24時間表示)
特定事象の種類 (注1)	非常用炉心冷却装置注水不能 (原災法政令第6条第4項第4号, 省令第21条第1項ロ)
発生事象と対応の概要 (注2)	<p>(対応日時, 対応の概要) 本日10時28分、管理型産業廃棄物最終処分場管理棟で火災警報が発生しました。</p> <p>状況は以下のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> 発生時刻 10時28分 発生場所 発電所構内 管理型産業廃棄物最終処分場管理棟 発見者 協力企業作業員 プラント設備への影響 確認中 双葉消防本部への連絡時刻 10時35分(119番通報) <p>その後の状況が分かり次第お知らせします。</p> <p>【公表区分：C】</p> <p>※添付の有り・無し</p>
その他の事項の対応 (注3)	なし

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。

(注1) 最初に発生した警戒事態該当事象の発生箇所, 発生時刻, 種類について記載する。

(注2) 設備機器の状況, 故障機器の応急復旧, 拡大防止措置等の時刻, 場所, 内容について発生時刻順に記載する。

(注3) 緊急時対策本部の設置状況, 被ばく患者発生状況等について記載する。

東京電力ホールディングス株式会社
福島第一原子力発電所

12:47

様式0-1(1/2)

応急措置の概要 (原子炉施設)

(第23182報)

2022年2月1日12時40分

内閣総理大臣, 原子力規制委員会, 福島県知事, 大熊町長, 双葉町長 殿

第25条報告

報告者名 東京電力ホールディングス株式会社
福島第一廃炉推進カンパニー
福島第一原子力発電所
原子力防災管理者 磯貝 智彦

連絡先 0240-30-9301

原子力災害対策特別措置法第25条第2項の規定に基づき、応急措置の概要を以下の通り報告します。

原子力事業所の名称及び場所	福島第一原子力発電所 福島県双葉郡大熊町大字夫沢字北原22
特定事象の発生箇所 (注1)	福島第一原子力発電所
特定事象の発生時刻 (注1)	2011年(平成23年)3月11日 16時36分(24時間表示)
特定事象の種類 (注1)	非常用炉心冷却装置注水不能 (原災法政令第6条第4項第4号, 省令第21条第1項ロ)
発生事象と対応の概要 (注2)	<p>(対応日時, 対応の概要) 第23181報でお知らせした、管理型産業廃棄物最終処分場管理棟で火災警報が発生した件について、その後の状況をお知らせします。</p> <p>消防署の状況確認により、11時44分、本事象は「誤報」と判断されました。</p> <p>【公表区分: その他】 「誤報」と判断されたことから、公表区分を「C」から「その他」に変更します。</p>
	※添付の有り・無し
その他の事項の対応 (注3)	なし

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。

(注1) 最初に発生した警戒事態該当事象の発生箇所, 発生時刻, 種類について記載する。

(注2) 設備機器の状況, 故障機器の応急復旧, 拡大防止措置等の時刻, 場所, 内容について発生時刻順に記載する。

(注3) 緊急時対策本部の設置状況, 被ばく患者発生状況等について記載する。

1/12

14:53

東京電力ホールディングス株式会社
福島第一原子力発電所

様式D-1(1/2)

応急措置の概要 (原子炉施設)

(第23183報)

2022年 2月 1日 14時40分

内閣総理大臣, 原子力規制委員会, 福島県知事, 大熊町長, 双葉町長 殿

第25条報告

報告者名 東京電力ホールディングス株式会社
福島第一廃炉推進カンパニー
福島第一原子力発電所
原子力防災管理者 磯貝 智彦

連絡先 0240-30-9301

原子力災害対策特別措置法第25条第2項の規定に基づき, 応急措置の概要を以下の通り報告します。

原子力事業所の名称及び場所	福島第一原子力発電所 福島県双葉郡大熊町大字夫沢字北原22
特定事象の発生箇所(注1)	福島第一原子力発電所
特定事象の発生時刻(注1)	2011年(平成23年)3月11日 16時36分(24時間表示)
特定事象の種類(注1)	非常用炉心冷却装置注水不能 (原災法政令第6条第4項第4号, 省令第21条第1項ロ) (対応日時, 対応の概要) プラント関連パラメータ、タンクエリアパトロール結果等について、下記の通りお知らせいたします。
発生事象と対応の概要(注2)	<ul style="list-style-type: none"> ・プラント関連パラメータ [2月1日11時00分現在] ・サブドレン等 分析結果 [採取日 1月31日] ・集中廃棄物処理施設周辺サブドレン水 分析結果 [採取日 1月31日] ・構内排水路 分析結果 [採取日 1月31日] ・構内排水路 排水路流量と分析結果 [採取日 1月14日~1月20日] ・護岸地下水観測孔 分析結果 [採取日 1月27日、31日] ・海水分析結果<港湾内、放水口付近> [採取日 1月24日、31日] ・発電所敷地内におけるモニタリング結果について、前回のお知らせから有意な変動はありません。 ・タンクエリアパトロール及び汚染水タンク水位計による常時監視において、漏えい等の異常はありません。 ・建屋滞留水の移送状況について、パトロール及び警報監視において、漏えい等の異常は確認されません。 <p>【公表区分：その他】</p> <p>※添付の(有り)・無し</p>
その他の事項の対応(注3)	なし

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。

(注1) 最初に発生した警戒事態該当事象の発生箇所, 発生時刻, 種類について記載する。

(注2) 設備機器の状況, 故障機器の応急復旧, 拡大防止措置等の時刻, 場所, 内容について発生時刻順に記載する。

(注3) 緊急時対策本部の設置状況, 被ばく患者発生状況等について記載する。

2/12

福島第一原子力発電所 プラント関連パラメータ

2022年2月1日 11:00現在

(脚注事項)
 各計測値については、地震やその他の異常温度の影響を受けて、通常の使用環境条件下に
 観測しているものと見做し、正しく測定されていない可能性のある計測値も存在している。
 プラントの状態を把握するために、このようないずれの計測値の不確かさも考慮したうえで、関連
 の計測値から得られる情報を活用して各工場の稼働にも留意して報告している。

	1号機	2号機	3号機	4号機
原子炉注水状況	給水系: 1.9 m ³ /h CS系: 1.4 m ³ /h (2/1 11:00 現在)	給水系: 0.0 m ³ /h CS系: 1.7 m ³ /h (2/1 11:00 現在)	給水系: 0.0 m ³ /h CS系: 1.7 m ³ /h (2/1 11:00 現在)	
原子炉圧力容器 底部温度	VESSEL BOTTOM HEAD (TE-263-69L1): 15.1 °C 原子炉 SKIRT JOINT 上部 (TE-263-69H1): 14.5 °C VESSEL DOWN COMMER (TE-263-69G2): 14.5 °C (2/1 11:00 現在)	VESSEL WALL ABOVE BOTTOM HEAD (TE-2-3-69H3): 22.2 °C RPV温度 (TE-2-3-69R): 23.0 °C (2/1 11:00 現在)	スカートジャンクション上部温度 (TE-2-3-69F1): 21.9 °C RPV上部ヘッド上部温度 (TE-2-3-69H1): 19.6 °C (2/1 11:00 現在)	
原子炉格納容器 内温度	HVH-12A RETURN AIR (TE-1625A): 14.7 °C HVH-12A SUPPLY AIR (TE-1625F): 14.6 °C (2/1 11:00 現在)	RETURN AIR DRYWELL COOLER (TE-16-114B): 22.5 °C SUPPLY AIR D/W COOLER HVH2-16B (TE-16-114G#1): 22.6 °C (2/1 11:00 現在)	格納容器空調機戻り空気温度 (TE-16-114A): 22.1 °C 格納容器空調機供給空気温度 (TE-16-114F#1): 19.5 °C (2/1 11:00 現在)	
原子炉格納容器 圧力	0.23 kPa g (2/1 11:00 現在)	2.84 kPa g (2/1 11:00 現在)	0.45 kPa g (2/1 11:00 現在)	
蒸気系入流量 ※3	RPV (RV/H-A): - Nm ³ /h (RV/H-B): 15.58 Nm ³ /h (JP-A): 14.83 Nm ³ /h (JP-B): - Nm ³ /h PCV: - Nm ³ /h (2/1 11:00 現在) ※4	RPV-A: 6.49 Nm ³ /h RPV-B: 6.54 Nm ³ /h PCV: - Nm ³ /h (2/1 11:00 現在) ※4	RPV-A: 8.35 Nm ³ /h RPV-B: 8.73 Nm ³ /h PCV: - Nm ³ /h (2/1 11:00 現在) ※4	
原子炉格納容器 ガス管理システム 排気流量	21.2 m ³ /h (2/1 11:00 現在)	18.59 Nm ³ /h (2/1 11:00 現在)	18.74 Nm ³ /h (2/1 11:00 現在)	
原子炉格納容器 水深濃度 ※1	A系: 0.00 vol% B系: 0.00 vol% (2/1 11:00 現在)	A系: 0.06 vol% B系: 0.06 vol% (2/1 11:00 現在)	A系: 0.10 vol% B系: 0.05 vol% (2/1 11:00 現在)	
原子炉格納容器 放射線濃度 (Xe135) ※2	A系: 指示値 8.20E-04 接出限界値 3.70E-04 B系: 指示値 1.09E-03 接出限界値 3.20E-04 (2/1 11:00 現在)	A系: 指示値 ND 接出限界値 1.3E-01 B系: 指示値 ND 接出限界値 1.3E-01 (2/1 11:00 現在)	A系: 指示値 ND 接出限界値 1.9E-01 B系: 指示値 ND 接出限界値 1.9E-01 (2/1 11:00 現在)	
使用済燃料プール 水温度	19.0 °C (2/1 11:00 現在)	18.3 °C (2/1 11:00 現在)	- °C ※5 (2/1 11:00 現在)	- °C ※5 (2/1 11:00 現在)
FPC 水位	3.72 m (2/1 11:00 現在)	3.26 m (2/1 11:00 現在)	- m ※6 (2/1 11:00 現在)	31.4 X100mm (2/1 11:00 現在)

※7: 作中に止り、原子炉注水装置停止中

(計測値に関する事項)
 ※1: 指示値が0.00vol%と表示する。(水深濃度が極めて低い場合は、計測値によりワイヤス及び圧力による測定値が参考となる)
 ※2: 指示値がワイヤスの濃度は0.00vol%と表示する。(水深濃度が極めて低い場合は、計測値によりワイヤス及び圧力による測定値が参考となる)
 ※3: 指示値が放射線濃度はNDと表示する。
 ※4: 指示値が放射線濃度はNDと表示する。
 ※5: 指示値が放射線濃度はNDと表示する。
 ※6: 指示値が放射線濃度はNDと表示する。
 ※7: 作中に止り、原子炉注水装置停止中

3/12

2022年2月1日
東京電力ホールディングス株式会社
福島第一廃炉推進カンパニー

サブドレン等 分析結果 (γ)

採取地点	採取日時	分析項目		
		I-131 (Bq/L)	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
1号機サブドレン	2022/01/31 08:16	< 6.4E+00	< 5.2E+00	1.5E+02
2号機サブドレン	2022/01/31 07:18	< 2.1E+01	1.3E+02	4.4E+03
3号機サブドレン	2022/01/31 07:45	< 3.9E+00	< 4.5E+00	< 4.4E+00
4号機サブドレン	2022/01/31 08:09	< 4.2E+00	< 3.5E+00	< 3.5E+00
5号機サブドレン	—	—	—	—
6号機サブドレン	—	—	—	—
構内深井戸	—	—	—	—

- ・核種毎の半減期：I-131(約8日), Cs-134(約2年), Cs-137(約30年)
- ・不等号 (<:小なり) は, 検出限界値未満 (ND)を表す。
- ・測定対象外および採取中止の項目は「-」と記す。
- ・O.OE±Oとは, $0.0 \times 10^{±0}$ であることを意味する。
- (例) $3.1E+01$ は 3.1×10^1 で31, $3.1E+00$ は 3.1×10^0 で3.1, $3.1E-01$ は 3.1×10^{-1} で0.31と読む。

4/12

2022年2月1日
東京電力ホールディングス株式会社
福島第一廃炉推進カンパニー

集中廃棄物処理施設周辺サブドレン水 分析結果 (Y)

採取地点	採取日時	分析項目		
		I-131 (Bq/L)	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
4号T/B建屋南東	2022/01/31 08:09	< 4.2E+00	< 3.5E+00	< 3.5E+00
プロセス主建屋北東	2022/01/31 08:12	< 3.4E+00	< 3.2E+00	< 5.1E+00
プロセス主建屋南東	2022/01/31 08:01	< 5.0E+00	< 4.8E+00	< 4.4E+00
雑固体廃棄物減容処理建屋南	2022/01/31 08:22	< 4.6E+00	< 4.2E+00	< 3.5E+00
サイトハンカ建屋南西	2022/01/31 08:32	< 3.8E+00	< 4.4E+00	< 4.4E+00
焼却工作建屋西側	2022/01/31 08:27	< 4.9E+00	< 4.4E+00	6.0E+01
雑固体廃棄物減容処理建屋北	2022/01/31 08:17	< 4.2E+00	< 3.9E+00	< 4.0E+00
サイトハンカ建屋南東	2022/01/31 07:57	< 4.1E+00	< 3.0E+00	< 4.0E+00

・核種毎の半減期：I-131(約8日)、Cs-134(約2年)、Cs-137(約30年)
 ・不等号 (<) は、検出限界未満 (ND) を表す。
 ・測定対象外および採取中止の項目は「-」と記す。
 ・O.OE±O とは、 $O.O \times 10^{\pm O}$ であることを意味する。
 (例) $3.1E+01$ は 3.1×10^1 で 31 、 $3.1E+00$ は 3.1×10^0 で 3.1 、 $3.1E-01$ は 3.1×10^{-1} で 0.31 と読む。
 ・サイトハンカ建屋南西は、1回/週程度の頻度で分析を実施。

5/12

2022年2月1日
東京電カホールディングス株式会社
福島第一廃炉推進カンパニー

構内排水路 分析結果 (全β・γ)

採取地点	採取日時	分析項目		
		全β (Bq/L)	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
A排水路	2022/01/31 07:46	< 3.3E+00	< 5.3E-01	2.1E+00
物置場排水路	2022/01/31 07:51	< 3.3E+00	< 5.8E-01	1.0E+00
K排水路	2022/01/31 06:00	3.7E+00	< 6.8E-01	2.7E+00
BC排水路	2022/01/31 06:00	< 3.3E+00	< 7.0E-01	< 6.2E-01
5,6号機排水路※1	—	—	—	—

・核種毎の半減期：Cs-134(約2年)、Cs-137(約30年)
 ・不等号 (< ; 小なり) は、検出限界値未満 (ND)を表す。
 ・測定対象外および採取中止の項目は「-」と記す。
 ・0.0E±0とは、0.0×10^{±0}であることを意味する。
 (例) 3.1E+01は3.1×10¹で31, 3.1E+00は3.1×10⁰で3.1, 3.1E-01は3.1×10⁻¹で0.31と読む。
 ・採取当日の降雨量は0 mm
 ・排水路流量情報は、解析中のため後日公表する。
 ※1 5,6号機排水路は1回/月に分析を実施。

6/12

2022年2月1日
東京電力ホールディングス株式会社
福島第一廃炉推進カンパニー

構内排水路 排水路流量と分析結果 (全β・H-3・γ)

採取地点	採取日時	降雨量 (mm/日)	流量 (m ³ /秒)	分析項目			
				全β (Bq/L)	H-3 (Bq/L)	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
A排水路	2022/01/14 07:45	0.0	0.000	4.6E+00	—	< 8.3E-01	3.4E+00
	2022/01/15 07:45	0.0	0.000	5.5E+00	—	< 7.2E-01	3.1E+00
	1/16 採取中止	0.0	0.000	—	—	—	—
	2022/01/17 07:20	0.0	0.000	4.7E+00	—	< 4.7E-01	2.2E+00
	2022/01/18 07:23	0.0	0.000	4.0E+00	—	< 3.6E-01	2.1E+00
	2022/01/19 07:15	0.0	0.000	3.5E+00	< 7.6E+00	< 4.2E-01	1.9E+00
	2022/01/20 07:15	0.0	0.000	4.1E+00	—	< 3.4E-01	2.0E+00
物揚場排水路	2022/01/14 07:50	0.0	0.006	< 2.8E+00	—	< 3.9E-01	8.7E-01
	2022/01/15 07:50	0.0	0.008	4.8E+00	—	< 4.2E-01	8.9E-01
	1/16 採取中止	0.0	0.008	—	—	—	—
	2022/01/17 07:25	0.0	0.008	< 3.1E+00	—	< 6.6E-01	8.4E-01
	2022/01/18 07:28	0.0	0.008	< 2.7E+00	—	< 4.7E-01	< 7.1E-01
	2022/01/19 07:20	0.0	0.007	< 3.3E+00	< 7.6E+00	< 5.5E-01	< 7.1E-01
	2022/01/20 07:20	0.0	0.008	< 3.3E+00	—	< 6.3E-01	1.1E+00
K排水路	2022/01/14 06:00	0.0	0.012	9.4E+00	—	< 6.7E-01	5.4E+00
	2022/01/15 06:00	0.0	0.012	6.4E+00	—	< 6.2E-01	3.6E+00
	2022/01/16 06:00	0.0	0.013	< 3.1E+00	—	< 4.1E-01	3.2E+00
	2022/01/17 06:00	0.0	0.012	5.2E+00	—	< 5.8E-01	3.0E+00
	2022/01/18 06:00	0.0	0.011	4.0E+00	—	< 5.1E-01	3.2E+00
	2022/01/19 06:00	0.0	0.011	3.3E+00	1.1E+02	< 6.6E-01	3.6E+00
	2022/01/20 06:00	0.0	0.011	4.2E+00	—	< 4.4E-01	3.5E+00
BC排水路	2022/01/14 06:00	0.0	0.019	< 2.8E+00	—	< 7.5E-01	< 5.8E-01
	2022/01/15 06:00	0.0	0.018	< 2.8E+00	—	< 4.6E-01	< 5.1E-01
	2022/01/16 06:00	0.0	0.022	< 3.0E+00	—	< 6.8E-01	< 5.7E-01
	2022/01/17 06:00	0.0	0.020	< 3.1E+00	—	< 5.6E-01	< 5.6E-01
	2022/01/18 06:00	0.0	0.021	< 2.7E+00	—	< 7.2E-01	< 6.7E-01
	2022/01/19 06:00	0.0	0.027	< 3.3E+00	< 7.6E+00	< 4.2E-01	< 5.5E-01
	2022/01/20 06:00	0.0	0.023	< 3.3E+00	—	< 4.7E-01	< 5.1E-01
5,6号機排水路	—	—	—	—	—	—	—

- ・核種毎の半減期：H-3(約12年)，Cs-134(約2年)，Cs-137(約30年)
- ・不等号 (<：小なり) は，検出限界値未満 (ND) を表す。
- ・測定対象外および採取中止の項目は「—」と記す。
- ・0.0E±0とは，0.0×10^{±0}であることを意味する。
- ・(例) 3.1E+01は3.1×10¹で31，3.1E+00は3.1×10⁰で3.1，3.1E-01は3.1×10⁻¹で0.31と読む。
- ・流量以外は既にお知らせ済み。
- ・採取中止理由：津波注意報発令のため。

7/12

2022年2月1日
東京電力ホールディングス株式会社
福島第一原発推進カンパニー

護岸地下水観測孔 分析結果 (全β・H-3・Y・塩素)

(1/2)

採取地点	採取日時	全β (Bq/L)	H-3 (Bq/L)	分析項目					塩素 (ppm)	
				Mo-54 (Bq/L)	Co-60 (Bq/L)	Ru-106 (Bq/L)	Sb-125 (Bq/L)	Cs-134 (Bq/L)		Cs-137 (Bq/L)
No.0-1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
No.0-1-2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
No.0-2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
No.0-3-1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
No.0-3-2	2022/01/27 07:47	5.2E+01	2.1E+04	< 2.5E-01	< 4.5E-01	< 3.4E+00	< 1.3E+00	< 3.8E-01	2.8E+00	-
No.0-4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
No.1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
No.1-6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
No.1-8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
No.1-9 x1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
No.1-11	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
No.1-12	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
No.1-14	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
No.1-16	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
No.1-17	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

・検査時の半減期: H-3(約12年), Mn-54(約310日), Co-60(約5年), Ru-106(約370日), Sb-125(約370日), Cs-134(約2年), Cs-137(約30年)

・不符号 (<: 小文字) は、検出限界未満 (ND) を表す。

・測定対象外および採取中止の項目は「-」と記す。

・O.O.E.±Oとは、 0.0×10^{-10} であることを意味する。

(例) $3.1E+01$ は 3.1×10^1 で31, $3.1E+00$ は 3.1×10^0 で3.1, $3.1E-01$ は 3.1×10^{-1} で0.31と読む。

・H-3以外は既にお知らせ済み。

※1 No.1-9は、採水器による採取であるため、Y測定は実施せず。全βは参考値としてご過後に測定。

8/12

護岸地下水観測孔 分析結果 (全β・H-3・Y・塩素)

(2/2)

採取地点	採取日時	全β (Bq/L)	H-3 (Bq/L)	その他の放射性核種					Cs-137 (Bq/L)	Cs-134 (Bq/L)	塩素 (ppm)
				Mn-54 (Bq/L)	Co-60 (Bq/L)	Ru-106 (Bq/L)	Sb-125 (Bq/L)	Cs-134 (Bq/L)			
1,2号観測孔 汲み上げ水		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
No.2	2022/01/27 07:16	2.1E+02	3.4E+02	< 3.3E-01	< 4.0E-01	< 3.4E+00	< 1.2E+00	< 3.8E-01	1.2E+00	-	
No.2-2	2022/01/27 07:05	2.0E+02	4.8E+02	< 1.5E+00	< 2.6E+00	< 1.7E+01	< 8.8E+00	< 4.0E+00	6.2E+01	-	
No.2-3	2022/01/27 07:00	4.3E+04	4.1E+03	< 4.0E-01	< 4.0E-01	< 4.0E+00	< 1.7E+00	< 5.8E-01	3.0E+00	-	
No.2-5 *1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
No.2-6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
No.2-7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
No.2-8	2022/01/27 07:08	4.0E+03	5.1E+02	< 3.3E-01	< 3.3E-01	< 3.4E+00	< 1.4E+00	< 3.5E-01	5.9E+00	-	
2,3号観測孔 汲み上げ水		-	-	-	-	-	-	-	-	-	
No.3	2022/01/27 07:39	1.6E+02	2.6E+03	< 2.6E-01	< 2.8E-01	< 3.1E+00	< 1.2E+00	< 3.9E-01	1.3E+00	-	
No.3-2	2022/01/27 07:12	5.0E+02	7.0E+02	< 1.5E+00	< 2.2E+00	< 1.8E+01	< 5.3E+00	< 2.3E+00	8.0E+00	-	
No.3-3	2022/01/27 07:37	2.3E+03	2.7E+03	< 4.8E+00	< 7.1E+00	< 4.4E+01	< 1.8E+01	< 6.0E+00	1.1E+02	-	
No.3-4	2022/01/27 07:27	< 1.3E+01	7.2E+02	< 8.5E-01	< 1.1E+00	< 9.5E+00	< 3.3E+00	< 1.3E+00	3.9E+00	-	
No.3-5 *2	2022/01/27 07:22	4.6E+01	< 1.0E+02	-	-	-	-	-	-	2.6E+02	
3,4号観測孔 汲み上げ水		-	-	-	-	-	-	-	-	-	

*1 検体等の半減期: H-3(約12年), Mn-54(約310日), Co-60(約5年), Ru-106(約370日), Sb-125(約30年), Cs-137(約30年)

*2 不符号 (<: 小なり) は、検出限界未満 (ND) を表す。

*3 測定対象および採取中止の項目は「-」と記す。

*4 O.C.E.S.Oとは、 0.0×10^0 であることを意味する。

(例) $3.1E+01$ は 3.1×10^1 で31, $3.1E+00$ は 3.1×10^0 で3.1, $3.1E-01$ は 3.1×10^{-1} で0.31と読む。

*5 H-3以外は既にお知らせ済み。

*6 No.2-5, No.3-5は、降水による採取であるため、Y測定は実施せず。全βは参考値としての過後に測定。

9/12

2022年2月1日
東京電力ホールディングス株式会社
福島第一原発推進カンパニー

護岸地下水観測孔 分析結果 (全β・γ・塩素)

(1/2)

採取地点	採取日時	分析項目									
		全β (Bq/L)	Mn-54 (Bq/L)	Co-60 (Bq/L)	Ru-106 (Bq/L)	Sb-125 (Bq/L)	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)	塩素 (ppm)		
No.0-1	2022/01/31 08:05	9.2E+01	< 1.7E+00	< 2.2E+00	< 2.1E+01	< 5.9E+00	< 2.3E+00	1.7E+01	—		
No.0-1-2	2022/01/31 08:10	< 1.2E+01	< 3.1E-01	< 3.3E-01	< 3.6E+00	< 1.4E+00	< 3.8E-01	4.4E+00	—		
No.0-2	2022/01/31 08:35	< 1.2E+01	< 2.9E-01	< 3.1E-01	< 2.6E+00	< 9.7E-01	< 3.0E-01	4.4E-01	—		
No.0-3-1	2022/01/31 08:20	3.1E+01	< 2.8E-01	< 2.6E-01	< 2.7E+00	< 9.1E-01	< 2.8E-01	2.9E+00	—		
No.0-3-2	2022/01/31 08:15	6.8E+01	< 3.1E-01	< 3.7E-01	< 3.4E+00	< 1.4E+00	< 5.6E-01	4.1E+00	—		
No.0-4	2022/01/31 08:30	< 1.2E+01	< 3.2E-01	< 3.5E-01	< 2.9E+00	< 1.0E+00	< 2.7E-01	1.8E+00	—		
No.1	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
No.1-6	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
No.1-8	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
No.1-9※1	2022/01/31 07:55	4.7E+01	—	—	—	—	—	—	7.3E+01		
No.1-11	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
No.1-12	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
No.1-14	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
No.1-16	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
No.1-17	—	—	—	—	—	—	—	—	—		

・採掘面の半減期：Mn-54(約310日)、Co-60(約5年)、Ru-106(約370日)、Sb-125(約3年)、Cs-134(約2年)、Cs-137(約30年)

・不等号 (<:小なり) は、検出限界未満 (ND) を表す。

・測定対象外および採取中止の項目は「-」と記す。

・O.E±Oとは、O.O×10^{±O}であることを意味する。

(例) 3.1E+01は3.1×10¹で31、3.1E+00は3.1×10⁰で3.1、3.1E-01は3.1×10⁻¹で0.31と読み、

※1 No.1-9は、採水経による採取であるため、Y測定は実施せず。全βは参考値としてY測定後に測定。

10/12

護岸地下水観測孔 分析結果 (全β・γ:塩素)

(2/2)

採取地点	採取日時	分析項目							基準 (ppm)
		全β (Bq/L)	Mn-54 (Bq/L)	Co-60 (Bq/L)	Ru-106 (Bq/L)	Sb-125 (Bq/L)	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)	
1,2号機ワエルポイント 汲み上げ水		-	-	-	-	-	-	-	-
No.2	2022/01/31 07:40	2.5E+02	< 2.7E-01	< 3.3E-01	< 2.3E+00	< 9.6E-01	< 2.5E-01	1.2E+00	-
No.2-2	2022/01/31 07:30	2.3E+02	< 1.7E+00	< 2.2E+00	< 1.9E+01	< 8.0E+00	2.5E+00	6.2E+01	-
No.2-3	2022/01/31 07:25	4.3E+04	< 3.9E-01	< 4.1E-01	< 4.2E+00	< 1.7E+00	< 4.2E-01	5.8E+00	-
No.2-5 ※2	2022/01/31 07:20	1.4E+05	-	-	-	-	-	-	-
No.2-6	-	-	-	-	-	-	-	-	-
No.2-7	2022/01/31 07:45	4.0E+02	< 3.7E-01	< 3.7E-01	< 3.6E+00	< 1.4E+00	< 3.6E-01	1.5E+00	5.1E+02
No.2-8	2022/01/31 07:50	3.8E+03	< 2.9E-01	< 3.0E-01	< 2.5E+00	< 1.0E+00	< 2.9E-01	3.3E+00	-
2,3号機改修ワエル 汲み上げ水		-	-	-	-	-	-	-	-
No.3	-	-	-	-	-	-	-	-	-
No.3-2	-	-	-	-	-	-	-	-	-
No.3-3	-	-	-	-	-	-	-	-	-
No.3-4	-	-	-	-	-	-	-	-	-
No.3-5 ※2	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3,4号機改修ワエル 汲み上げ水		-	-	-	-	-	-	-	-

・採掘等の半減期: Mn-54(約310日), Co-60(約5年), Ru-106(約370日), Sb-125(約370日), Cs-134(約2年), Cs-137(約30年)
 ・不等号 (<:小なり) は、検出限界未満 (ND) を表す。
 ・測定対象外および採取中止の項目は「-」と記す。
 ・0.0E±0とは、0.0×10⁰であることを意味する。
 (例) 3.1E+01は3.1×10¹で31, 3.1E+00は3.1×10⁰で3.1, 3.1E-01は3.1×10⁻¹で0.31と読む。
 ※2 No.2-5, No.3-5は、汲み上げ水による採取であるため、γ測定は実施せず。全βは参考値としてこの測後に測定。

11/12

2022年2月1日

東京電力ホールディングス株式会社
福島第一廃炉推進カンパニー

海水分析結果<港湾内, 放水口付近> (全β・H-3・γ)

試料名称	採取日時	分析項目			
		全β (Bq/L)	H-3 (Bq/L)	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
1F 5,6号機放水口北側 (T-1)	2022/01/24 08:15	7.7E+00	< 8.9E-01	< 8.5E-01	< 6.2E-01
1F 6号機取水口前	2022/01/24 08:00	1.7E+01	< 2.5E+00	< 5.9E-01	< 4.2E-01
1F 物揚場前	2022/01/24 07:10	< 1.3E+01	< 1.6E+00	< 5.1E-01	5.1E-01
1F 1~4号機取水口内北側 (東波除堤北側)	2022/01/24 07:29	1.9E+01	3.3E+00	< 3.8E-01	1.2E+00
1F 1~4号機取水口内南側 (避水壁前)	2022/01/24 07:34	< 1.3E+01	3.9E+01	< 4.7E-01	1.7E+00
1F 南放水口付近 (T-2) ※	2022/01/24 08:43	1.2E+01	< 8.8E-01	< 8.0E-01	< 7.7E-01
1F 港湾口 (T-0)	2022/01/24 06:47	< 1.5E+01	< 1.6E+00	< 5.3E-01	< 5.4E-01
1F 港湾中央	2022/01/24 06:54	< 1.5E+01	2.1E+00	< 3.5E-01	< 5.5E-01
1F 港湾内東側	2022/01/24 06:52	< 1.2E+01	< 1.9E+00	< 3.2E-01	3.7E-01
1F 港湾内西側	2022/01/24 06:56	1.5E+01	< 1.9E+00	< 2.7E-01	< 3.8E-01
1F 港湾内北側	2022/01/24 06:58	< 1.2E+01	< 1.9E+00	< 3.0E-01	< 3.6E-01
1F 港湾内南側	2022/01/24 06:50	1.3E+01	< 1.9E+00	< 2.5E-01	< 3.1E-01
1F 北防波堤北側 (T-0-1)	2022/01/24 06:34	< 1.3E+01	< 8.9E-01	< 6.7E-01	< 6.2E-01
1F 港湾口北東側 (T-0-1A)	2022/01/24 06:36	2.1E+01	< 8.9E-01	< 5.9E-01	< 8.0E-01
1F 港湾口東側 (T-0-2)	2022/01/24 06:38	1.7E+01	< 8.9E-01	< 6.6E-01	< 6.9E-01
1F 港湾口南東側 (T-0-3A)	2022/01/24 06:40	< 1.3E+01	< 8.9E-01	< 8.7E-01	< 5.8E-01
1F 南防波堤南側 (T-0-3)	2022/01/24 06:42	1.5E+01	< 8.9E-01	< 7.5E-01	< 7.3E-01
告示濃度限度*1			6.0E+04	6.0E+01	9.0E+01
WHO飲料水水質ガイドライン			1.0E+04	1.0E+01	1.0E+01

- ・核種毎の半減期：H-3(約12年), Cs-134(約2年), Cs-137(約30年)
- ・不等号 (<) は、検出限界値未満 (ND) を表す。
- ・測定対象外および採取中止の項目は「-」と記す。
- ・0.0E±0とは、0.0×10^{±0}であることを意味する。
- ・(例) 3.1E+01は3.1×10¹で31, 3.1E+00は3.1×10⁰で3.1, 3.1E-01は3.1×10⁻¹で0.31と読む。
- ・物揚場前は、シルトフェンス閉鎖を行った日は閉鎖実施後にもサンプリングを実施。
- ・H-3以外は既にお知らせ済み。

※1 東京電力株式会社福島第一原子力発電所原子炉施設の保安及び特定核燃料物質の防護に関する規則に定める告示濃度限度

(別表第一第六欄：周辺監視区域外の水中の濃度限度[本表では、Bq/cm³の表記をBq/Lに換算した値を記載])

※試料採取作業の安全確保ができないため、採取地点を1~4号機放水口から南側に約1300mの地点に一時的に変更。

12/12

2022年2月1日
東京電力ホールディングス株式会社
福島第一廃炉推進カンパニー

海水分析結果<港湾内, 放水口付近> (全β・γ)

試料名称	採取日時	分析項目		
		全β (Bq/L)	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
1F 5,6号機放水口北側 (T-1)	2022/01/31 08:35	1.2E+01	< 8.7E-01	< 5.8E-01
1F 6号機取水口前	2022/01/31 08:00	< 1.3E+01	< 4.4E-01	< 4.7E-01
1F 物揚場前	2022/01/31 07:40	< 1.3E+01	< 5.3E-01	< 5.8E-01
1F 1~4号機取水口内北側 (東波除堤北側)	2022/01/31 07:55	< 1.3E+01	< 4.1E-01	6.8E-01
1F 1~4号機取水口内南側 (遮水壁前)	2022/01/31 08:00	< 1.3E+01	< 4.1E-01	2.1E+00
1F 南放水口付近 (T-2) ※	2022/01/31 08:55	1.1E+01	< 4.7E-01	< 5.2E-01
1F 港湾口 (T-0)	2022/01/31 06:44	< 1.1E+01	< 5.0E-01	< 4.5E-01
1F 港湾中央	2022/01/31 06:51	< 1.1E+01	< 3.7E-01	< 4.6E-01
1F 港湾内東側	2022/01/31 06:49	< 1.1E+01	< 1.9E-01	< 2.9E-01
1F 港湾内西側	2022/01/31 06:53	1.1E+01	< 3.1E-01	6.8E-01
1F 港湾内北側	2022/01/31 06:55	< 1.1E+01	< 2.1E-01	< 3.0E-01
1F 港湾内南側	2022/01/31 06:47	1.4E+01	< 3.0E-01	< 3.1E-01
1F 北防波堤北側 (T-0-1)	2022/01/31 06:30	< 1.5E+01	< 8.3E-01	< 7.2E-01
1F 港湾口北東側 (T-0-1A)	2022/01/31 06:32	< 1.5E+01	< 7.8E-01	< 6.0E-01
1F 港湾口東側 (T-0-2)	2022/01/31 06:35	< 1.5E+01	< 6.6E-01	< 6.6E-01
1F 港湾口南東側 (T-0-3A)	2022/01/31 06:37	< 1.5E+01	< 7.4E-01	< 7.8E-01
1F 南防波堤南側 (T-0-3)	2022/01/31 06:39	< 1.5E+01	< 5.3E-01	< 8.0E-01
告示濃度限度 ^{※1}			6.0E+01	9.0E+01
WHO飲料水水質ガイドライン			1.0E+01	1.0E+01

・核種毎の半減期：Cs-134(約2年), Cs-137(約30年)
 ・不等号 (< ; 小なり) は、検出限界値未満 (ND) を表す。
 ・測定対象外および採取中止の項目は「-」と記す。
 ・0.0E±0とは、0.0×10^{±0}であることを意味する。
 (例) 3.1E+01は3.1×10¹で31, 3.1E+00は3.1×10⁰で3.1, 3.1E-01は3.1×10⁻¹で0.31と読む。
 ・物揚場前は、シルトフェンス開閉を行った日は開閉実施後にもサンプリングを実施。

※1 東京電力株式会社福島第一原子力発電所原子炉施設の保安及び特定核燃料物質の防護に関する規則に定める告示濃度限度

(別表第一第六欄：周辺監視区域外の水中の濃度限度[本表では、Bq/cm³の表記をBq/Lに換算した値を記載])
 ※試料採取作業の安全確保ができないため、採取地点を1~4号機放水口から南側に約1300mの地点に一時的に変更。

東京電力ホールディングス株式会社
福島第一原子力発電所

16=43 1/1

様式9-1(1/2)

応急措置の概要(原子炉施設)

(第23184報)

2022年 2月 1日 16時40分

内閣総理大臣, 原子力規制委員会, 福島県知事, 大熊町長, 双葉町長 殿

第25条報告

報告者名 東京電力ホールディングス株式会社
福島第一廃炉推進カンパニー
福島第一原子力発電所
原子力防災管理者 磯貝 智彦

連絡先 0240-30-9301

原子力災害対策特別措置法第25条第2項の規定に基づき、応急措置の概要を以下の通り報告します。

原子力事業所の名称及び場所	福島第一原子力発電所 福島県双葉郡大熊町大字夫沢字北原22
特定事象の発生箇所(注1)	福島第一原子力発電所
特定事象の発生時刻(注1)	2011年(平成23年)3月11日 16時36分(24時間表示)
特定事象の種類(注1)	非常用炉心冷却装置注水不能 (原災法政令第6条第4項第4号, 省令第21条第1項ロ)
発生事象と対応の概要(注2)	<p>(対応日時, 対応の概要)</p> <p>第23180報でお知らせしたとおり、サブドレン他水処理施設一時貯水タンクHに貯水していた水について、本日以下のとおり排水を実施しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・排水開始 : 11時09分 ・排水終了 : 15時28分 ・排水量 : 62.4 m³ <p>排水状況については、漏えい等の異常がないことを確認しております。</p> <p>【公表区分：E】</p>
その他の事項の対応(注3)	なし

※添付の有り (無し)

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。

(注1) 最初に発生した警戒事態該当事象の発生箇所, 発生時刻, 種類について記載する。

(注2) 設備機器の状況, 故障機器の応急復旧, 拡大防止措置等の時刻, 場所, 内容について発生時刻順に記載する。

(注3) 緊急時対策本部の設置状況, 被ばく患者発生状況等について記載する。